

平成30年度 小ざくら夜間保育園職員による自己評価一覧表

<評価>

- a) できている。適切である。
- b) 十分ではない。改善が必要である。
- c) ない。していない。されていない。

項 目		今年度 園評価	前年度 園評価	改善課題
【Ⅰ】保育理念				職員に対しては、年度初めの職員会議、保護者に対しては、年度初めの保育説明会において理念や基本方針について説明している。しかしながら、まだ不十分であるため、年度の途中においても丁寧に説明をしていく必要がある。
1	理念が明文化されている	a	a	
2	理念に基づく基本方針が明文化されている	a	a	
3	理念や基本方針が職員に周知されている	b	b	
4	理念や基本方針が保護者や地域の住民、関係機関に周知されている	b	b	
5	一人ひとりの子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組みを行っている	a	a	
【Ⅱ】子どもの発達援助				アセスメント→計画→実施→モニタリングといったサイクルについて集団処遇ではなく、個別支援を心掛けているが十分ではない。さらに利用児個人個人の発達過程に目を向け、保護者にも協力を求めながらハード・ソフト両面において質の高い保育が提供できるよう取り組んでいく。
1	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	a	a	
2	食事を楽しむことができる工夫をしている	b	b	
3	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている	a	b	
4	健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	a	b	
5	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている	b	b	
6	障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている	b	b	
7	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている	b	b	
8	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている	b	b	
9	保育所に保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している	b	b	
10	定められた手順に従ってアセスメントを行っている	b	b	
11	サービス実施計画を適切に作成している	b	b	
12	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている	b	b	
13	提供するサービスの標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている	b	b	
14	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している	b	b	
15	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている	b	b	
16	利用者に関する記録の管理体制が確立されている	a	a	
17	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有している	a	a	
18	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている	b	b	
19	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている	b	b	
20	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている	b	b	
21	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている	b	b	
22	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごせることのできるような人的・物的環境が整備されている	b	b	
23	子どもが基本的な生活環境を身につけ、身体的な活動ができるような環境が十分整備されている	b	b	
24	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験がせきるような人的・物的環境が整備されている	b	b	
25	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている	b	b	
26	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている	b	a	

	項目	今年度 園評価	園評価	改善課題
Ⅲ	保護者に対する支援			<p>参観日の懇談や日々の連絡帳、送迎時において保護者とコミュニケーションをとるようにしている。今後はITの活用も検討し、より密度の高いコミュニケーションがとれるようにしていく。地域住民と顔の見える関係は築けている。今後も行事への参加や招待により、関係性を深めると同時に、そこから福祉ニーズを把握し、園の持つ機能・社会資源を有効に地域に還元していく。</p>
1	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	b	a	
2	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている	b	b	
3	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている	b	b	
4	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている	b	b	
5	利用者と地域の関わりを大切にしている	b	b	
6	地域の福祉ニーズを把握している	b	b	
7	地域のニーズに基づき事業・活動が行われている	a	b	
8	事業所が有する機能を地域に還元している	a	b	
9	必要な社会資源を明確にしている	b	b	
10	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している	b	b	
11	関係機関等の連携が適切に行われている	a	b	
12	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している	a	a	
13	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている	a	a	
Ⅳ	保育を支える組織的基盤			<p>概ね、前年度より評価は上がっているものの、効果的な改善計画が立てられていたか、また、実行できたかについては疑問があり、課題分析と計画立案からの実行に弱さがある。定期的に振り返りを設けることで、より良い施設運営ができるよう、職員が統一した認識を持って業務にあたっていく。</p>
1	緊急時(事故、感染症の発生等)における利用者の安全確保のための体制が関日されている	a	a	
2	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている	a	b	
3	利用者の安全確保のためのリスクを把握し対策を実行している	b	b	
4	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている	a	a	
5	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒の発生時に対応できるような体制が整備されている	a	b	
6	サービスの内容について定期的に評価を行う体制を整備している	a	a	
7	保育者等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている	b	b	
8	評価の結果に基づき組織として取り組みべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している	b	b	
9	必要な人材に関する具体的なプランが確立している	b	b	
10	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている	a	a	
11	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている	b	b	
12	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる	a	b	
13	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている	a	b	
14	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画に基づいて具体的な取組が行われている	a	b	
15	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている	a	b	
16	実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている	b	b	
17	中・長期計画が策定されている	b	a	
18	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている	b	b	
19	事業計画の策定が組織的に行われている	a	b	
20	事業計画が職員に周知されている	b	b	
21	事業計画が保護者等に周知されている	b	b	
22	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている	b	a	
23	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している	b	b	
24	子ども・保護者のプライバシー保護に関する規定・マニュアル等を整備している	a	b	
25	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している	a	a	
26	施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している	a	a	
27	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている	a	a	
28	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している	a	a	
29	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している	b	b	
30	事業計画をとりまく環境が的確に把握されている	a	b	
31	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている	a	b	
32	外部監査が実施されている	a	a	
33	保護者からの意見等に対して迅速に対応している	a	b	